

ネクストエネルギー・アンド・リソース 株式会社  
<http://www.nextenergy.jp>

本社 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂11465-6  
東京支店 〒160-0023 東京都新宿区西新宿1-23-7 新宿ファーストウエスト14階  
大阪営業所 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島3-10-13 物産ビル6階  
名古屋営業所 〒452-0003 愛知県清須市西枇杷島町末広77  
ホーチミン事務所 ベトナム社会主義共和国 ホーチミン市3区  
カック・マン・タン・タム 62A Lim II タワー15階

お問い合わせ先：インフォメーションセンター  0120-338647  
※営業時間 10:00～17:00（土・日・祝日除く）



EMS  
Energy Management System

# ネクストエナジーグループがご提供するエネルギー管理システム

## エネルギー管理は経営管理

企業が生産活動を行い商品やサービスを生み出すには、様々な経営資源（ヒト・モノ・カネ・情報）が必要であり、エネルギーもその経営資源のひとつです。しかしながら、エネルギーをきちんと管理している企業はまだ少なく、そこから見える改善や対応策を見逃したことで収益悪化を招いているケースもあります。

変化の激しい経営環境に対応するために、エネルギーを管理、分析、改善することで生産性向上、原価低減を図り、企業の収益向上、競争力アップへつなげていきます。

ネクストエナジーグループ（ネクストエナジー・アンド・リソース株式会社、株式会社ヴェリア・ラボラトリーズ）では、「エネルギー管理は経営管理の一環である」と考え、最適なエネルギー管理システムをご提案、ご提供していきます。

### 見える化で無駄を削減

エネルギーの見える化、データには設備や仕事の運用改善ヒントがあります。不要な生産ライン停止の抑制や無駄なエネルギー投入の削減、修繕費減少、従業員意識向上により生産性向上を図り、原価低減、利益向上を図ります。

生産性向上

原価低減

利益向上

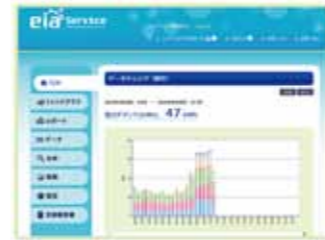
## 省エネ

- ▶ 設備制御
- ▶ 運用改善
- ▶ 設備更新



## EMS

- ▶ 見える化
- ▶ データ収集
- ▶ 最適化



## 創エネ

- ▶ 安定的な電力調達
- ▶ CO<sub>2</sub>排出削減
- ▶ VPP



### 太陽光発電による電力調達

可動部や燃焼部がなく、設備導入、運用が容易な太陽光発電システム。導入後は、制度変更や燃料費変動が少なく長期間にわたり安定的かつ安価な電力を調達できます。

工場屋根へ設置（PV出力259kW PCS出力200kW）

設備導入費	38,500,000円
維持費	16,550,000円
合計	55,050,000円

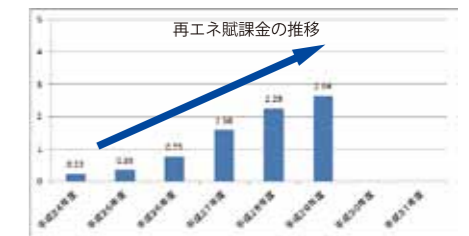
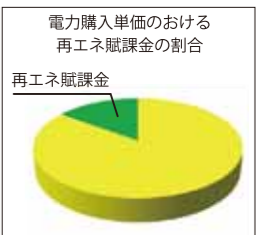
17年間の予想発電量：5,062,183kWh

発電コスト：設備合計/発電電力量（kWh）  
⇒ 55,050,000円 ÷ 5,062,183kWh = **10.87円/kWh**

※ 設備導入費は、太陽電池モジュール一面設置。標準工事にて算定。  
※ 維持費として、固定資産税・廃棄費用・PCS交換費用・保険料・主技費用を算定。  
※ 予想発電量は、SolarProソフトによる群馬県気象データ、傾斜角度2°にて算定。  
※ 発電システム劣化率は年0.7%としております。  
※ ここでいう17年間とは、太陽光発電システムの法定耐用年数を指します。

### 今後も上がる再エネ賦課金

再生可能エネルギーの固定価格買取制度による再エネ賦課金は今後も上昇していきます。



### エネルギー使用合理化等事業者支援事業

事業者が計画した省エネルギーに係る取り組みのうち、工場・事業所等における先端的な省エネ設備・システム等の導入であり、かつ政策的意義の高いと認められる事業に対し、最大1/3までの補助金が交付されます。また、「エネマネ事業者」のエネルギー管理システム（EMS）を導入し、エネルギー支援サービスを受けることで、最大1/2の補助金が交付されます。



#### I. 工場・事業場単位での省エネルギー設備導入事業

- 業種や設備は限定していません。
- 省エネルギーとなる事業は申請可能です。「どのような省エネ設備に更新するか」、「省エネ取組を行うか」を検討の上、申請ください。
- 省エネルギー効果の計算方法は、事業者の方が検討・決定してください。

#### II. 設備単位での省エネルギー設備導入事業

- 業種は限定していません。
- 更新設備は10の設備区分の中から選択してください。
- 補助事業ポータルへ入力いただければ、省エネルギー効果計算や申請書類の作成が簡単にできます。

出典：SII WEB サイト

### エネルギー管理システム（EMS）

電力、熱、圧力、流量といったエネルギー使用状況の見える化、データ分析に加え、空調や照明、生産設備の制御を行います。

EMSの導入

### 蓄電池

太陽光発電電源の安定化、ピークシフトに活用。また、BCP対策にも有効なアイテムとなります。



### 環境施設算入

工場立地法を活用し、生産施設の屋根上に太陽光発電システムを設置して「環境施設」として届け出ることによって、その面積分を他の目的（生産施設や駐車場）に転用することができます。



出典：九州経済産業局 WEB サイト